

平成26年度 第4回

川合市長と語り合うタウンミーティング

～ 外国籍市民～



日時：平成26年8月28日（木）
午後6時00分～7時30分
場所：川越市役所7階 AB会議室

参加者

市内在住（在勤・在学）の外国籍等市民 23名

出席者

市長、奥山副市長、市民部長、文化スポーツ部長、文化スポーツ部副部長

意見数

分類	件数	内容	頁
保健・福祉・医療	2	中国残留孤児への支援	12
		障害者のための就労支援	18
教育・文化・スポーツ	10	姉妹都市	5
		アジア芸術祭	6
		日タイの文化交流	8
		日本語教室の充実	11
		クラッセ川越	12
		幼稚園で外国語に触れる機会の設定	14
		オリンピック外国人ボランティア	15
		国際交流の場の設定	16
		保育園・小学校	17
		外国籍市民会議への呼びかけ	19
都市基盤・生活基盤	1	大正浪漫夢通り	4
産業・観光	5	外国籍市民の川越市観光政策への協力	3
		舟運の復活	4
		Wi-Fi環境の整備	7
		観光案内ボランティア	11
		観光客向け看板の統一	13
環境	1	ごみの集積所	12
行財政運営	1	税金の手続き	16
その他	1	川合市長へのメッセージ	2
計	21		

意見交換（要約）

《川合市長へのメッセージ》

意見 私はまず自分からの発言というよりも、2年前まで川越市外国籍市民会議の代表を務めていたベリー・ドゥエル先生からの川合市長さんへのメッセージを預かっておりますので、それを代読させていただければと思いますけれども、よろしいでしょうか。

市民部長 お願いします。

意見 川合善明市長殿。

本日は、川越市の外国籍市民のために、このような話し合いの機会を設けていただきありがとうございます。ただいま海外滞在中につき、せっかくの機会に参加できずに大変残念に思います。

思い起こせば、川越市の多文化共生計画の一端として川越市の外国籍市民会議は平成11年に発足いたしました。以降、市役所の多くの方々のサポートを得て今日に至っております。その実態は、平成22年の第三次川越市国際化基本計画には、同会議について次のように書かれております。「2 外国籍市民も暮らしやすいまちづくり」。地域社会の構成員である外国籍市民の声を行政施策に反映させ多様性に富んだまちづくりを推進するために、川越市外国籍市民会議を設置し、定期的に会議を開催し、テーマを決めて協議を重ねています。発足から既に15年の歴史を重ね、市役所と協力をして川越市外国籍市民のみならず、地域社会のために少しずつ実績を上げていると思います。例えば日本語及び各外国語の生活ガイドブックや災害時の連絡カードの作成、市内設備の案内の充実などです。他の市町村に先駆けて川越市では同会議をいち早く設置していただき、最近では川越市行政と外国籍市民をつなげる重要なパイプになってきました。それにつきましては、川越市外国籍市民の一人として大変感謝しております。

しかし、同会議が引き続き活気のある組織として発展していくために、そろそろいろんな観点からの見直しが必要な時期になってきたのではないかと思います。ぜひとも、きょうのタウンミーティングは、そのような見直しのきっかけになれば幸いです。よろしく願いいたします。

2014年8月28日、ドゥエル・ベリー（川越市外国籍市民会議前代表）

以上です。

市長 どうもありがとうございます。頂戴します。

市民部長 これについての回答はよろしいですね。

また、今日この後、皆さんから要望いただいた中で見直しのきっかけを作りたいというふうに思っておりますので、それでよろしいですか。

意見 はい、結構でございます。

《外国籍市民の川越市観光政策への協力》

意見 川越市外国籍市民会議は平成 11 年から発足して十数年になります。私たちの会議は、外国の人たちが、それぞれの思いがありながらも、川越のため、外国人のため、という思いが同じでいます。会議中にいろいろな意見をぶつけても、結局、皆さんが協力しながら知恵を絞って、より良い提案を市長さんに毎年出すことができるよう、一生懸命努力するところが、外国籍市民会議に参加してすごくいいと思います。

ちょっと振り返ってみると、委員たちの川越に対する思いもあって、これからも皆様、私たちを後ろで支えていただき続けていくことこそ、そのチームワークを、そのチームプレーで今までこられたのだと思います。

そして今でも感謝しているのは、川越市で私たち外国人を助けていく場を設けていただいていることです。市長さんが毎年すごく忙しい中で、私たちと会っていただいて、話もきちんと聞いていただいて、私たちの案を受けとめ、少しずつ市政の施策に反映することは、私たちもすごい、この会議に参加する甲斐があると思いますし、すごく感謝しております。

確かに、この 15 年の節目にかけて、やっぱりもう一度原点に戻って外国籍市民会議をどうすれば続けられるようになるのか、これから私たちの会議のもう一つの課題になると思います。そして、今日のタウンミーティングもそのきっかけになると思いますので、これからもよろしく願いいたします。

26 年のテーマなんですけれども、6 年後のオリンピックを見据えて一過性ではなく、徐々に基盤を固めて、川越市をより良い観光都市になるようつくり上げていくという思いがあるから、私たちの会議で外国人、ここに住んでいる外国人の市民も同じように。それで外から来たお客さんに川越が魅力ある都市という想いを持つような観光都市をつくりたいから、それを今年のテーマに外国籍市民の川越市観光政策への協力をテーマに決めました。これからは会議で市の観光課と、市のオリンピック準備室の方を招いて市の方針や計画について伺い、要望などもしたいと思います。よろしく願いいたします。

私、これまで外国籍市民会議の議題を年代順にリストにしましたので、今日、この

機会で市長さんに渡したいと思います。よろしいでしょうか。

市長 頂戴します。ありがとうございます。

《舟運の復活》

意見 私は近い将来、菓子屋横丁の裏から氷川神社の裏の間に舟運を復活したいです。現在、蔵造りの一番街が観光のメインストリートになりますけれども、すごいにぎやかで、とてもいいと思いますが、やっぱり小江戸川越と呼ばれるのは、舟運があるから。どうしてウナギを川越で食べるようになったのかは、江戸でウナギを食べる食文化があることがその1つだと思います。やはり川越の小江戸としての一連の観光というのは、例えば織物市場とか蔵造りとか氷川神社、川越まつり、そしてウナギ料理等の川越の郷土料理、それを全部、舟運で伝える何かがあると思います。外国人から見ると、すごい魅力のある川越になると思いますし、そこにあるものも観光スポットになると思います。ちょっと自分の想像なんですけれども、私たち川越に住んでいる外国人も、そういう楽しみも増えるし、例えば子どもが七五三のときにちょっと旅行して、菓子屋横丁から舟で氷川神社までということも楽しいし、住んでいる私たちも楽しめるし、来ている外国人もきれいな着物を着て、そこで蔵造り一番街で食事をして、それから舟に乗って氷川神社に足を延ばして、ちょっと願いがかなって、それもすごい思い出に残る川越の観光になるのではないかと思います。これは魅力があるんですけれども、多分簡単じゃないから、すごく難しいことだと思いますから、ぜひ、市長さんに話をしたいことの1つです。

市長 菓子屋横丁のところから氷川神社までの間の舟運をしたらどうかと。舟に乗って動けるようにしたらどうかということですね。

そういう方向でのご提案といいますか、いろいろなご意見はいただいております。舟運については、今は氷川神社の裏で桜の季節に2日間ぐらい実施しているというところなのですが、あれをもうちょっと期間を長くするとか、上流のほう、菓子屋横丁まで延ばすとか、そういうような点についても検討していきたいというふうに思います。

《大正浪漫夢通り》

意見 大正浪漫夢通りのことなんですけど、歩いていて、石畳がところどころ壊れているんですけれども、ちょっと別のもので直してあるので、すごい違和感を感じますよね。もし予算がありましたら、ぜひ石で修復すれば、何かすごい名所にふさわしいか

などと思います。

市長 大正浪漫夢通りの石畳がちょっと割れたのがアスファルトで復元されていて、ちょっと違和感があるという、それを何とかしてほしいということですね。

大正浪漫夢通りについては、確かに石ではなくなっているところがいっぱいあって、あれはある意味ではみっともない状況ですので、できるだけ早く改善したいというふうに思います。

《姉妹都市》

意見 私は、韓国から留学生として来日して、東京での2年間を除いて、ずっと川越で20年近くになります。厳しい留學生活で味わえなかった川越市の魅力を改めて感じて、だんだん川越市民として誇りを持ち、うれしく思っております。おかげさまで外国籍市民会議を通して、市長さんにもご提言する場にも恵まれてきました。

数年前から、川越の姉妹都市になっている外国を調べたところ、ドイツ、アメリカ、フランスはありますが、アジアは1国もなかったのも、もしそれが実現するならいつごろできるかとか、難しかったら、その一番の難点というか、問題点は何かということをお伺いしたいと思います。

私が自分なりに調べたところ、姉妹都市を結ぶところまで行って、国家との政治問題でだめになったケースがある県もありましたが、悪い話ばかりではありません。愛知県の犬山市と韓国のソウルのとある区（区の1つ）は昭和48年に姉妹都市になって、今まで深いきずなで交流が活発に続いているようです。そのほかにも韓国との姉妹都市はいろいろございます。ことしの4月には、竹島問題の当事者、島根県の大田市と姉妹都市である韓国の大田（テジョン）というところから中高校生が来て友好が深まる中、島根県高校生と仲よく島の周りを掃除したというのをネットで見ました。そこには竹島は日本だ、韓国だという主張は全くなく、心温まる話しかなかったようです。韓国とは市名が同じ漢字表記ということで1987年、姉妹都市になったそうです。

市長 姉妹都市をアジアにつくったらどうかという、そういうご提案だったと思います。そういう考えがないわけでもないという状況でして、議員さんの間にも、ヨーロッパとかアメリカみたいに遠いところの国だけではなくて、もっと近いところに姉妹都市を設けるべきだという、そういうご意見もあるように聞いておりますので、この点について前向きに検討してみたいと思います。

ただ、もっと例えば非常に恣意的に好き勝手に、このまちと姉妹都市になるという、

そういうわけにはいきません。それなりに川越市と何らかの形でつながりがあるとか、そういうようなものがないと、なかなか姉妹都市にするということが市民の皆さん、あるいは議会の皆さんに理解されないということになってしまいます。その辺については、ちょっと選択というか、決めるのに時間が若干かかろうかとは思いますが、検討していきたいというふうに思っています。

意見 川合市長さん、ご就任前の話か後の話かは、ちょっとわからないんですけども、前にも私が1回、姉妹都市のお話をしたとき、会議の中で、今、検討中だというお話をお聞きしたことはあるんですね。それが今、何年かたっていて、それが何かなくなつた、何かだまされたような気がして、そのときその話が出たとき、どうして、何でそれが決裂されたか、その話は本当にあった話か、それをちょっと申しわけございませんけれども確認したいんです。

市民部長 以前に韓国からお話はありました、三、四年前には。ただやはり、先ほど市長も申し上げたとおり、ただ単に向こうから言ってきた、それでは姉妹都市を結びましょう、というわけにはいきません。例えば今現在の姉妹都市みたいに、何らかの形で川越と関係がないと結べませんので、そういうところで、なかなかできなかったところがあるんですけども。

意見 韓国のどこの市だったかご存じですか。

市民部長 大使館を通じて来ましたよね、もう三、四年前に。それだけはちょっと記憶がありますが市の名前は覚えておりません。申しわけないです。

意見 川越市もアジアの国に関心があればではなく、関心を持って、政治の話は忘れて、人と人との触れ合いを結び合う、言葉どおりの姉妹都市の結びのご検討はいかがでしょうか。

《アジア芸術祭》

意見 姉妹都市になるまでに時間がかかりそうでしたら、まずアジアとの友好を深める場として、多分、来年、新しい市民会館が完工ですよ。そこで近いうちに私の小さな夢なんですけれども、アジア芸術祭はどうかなと思っています。中国の京劇、前に国際大学で1回見たことがあるんです。とても感動的だったので、これをぜひ川越市民の皆さんに見せたいと思いました。それとアジアの映画とか伝統舞踊でも、アジアの有名なアーティストが集まって、川越市民と触れ合いを少しずつ通してみませんか。それができたら、私たちも惜しまず協力いたします。

市長 アジア芸術祭ですか、なかなか市民、国民同士が交流する場として、一つのと

てもいいアイデアだと思いますので検討させていただきます。

意見 今のアイデアから続いて、まず僕は芸術の音楽の研究者だから、そっちのほうにちょっと離れてしまいます、申しわけない。

アジア芸術祭、非常に視野の大きい夢ですよ。ありがたいですけども、そのようなイベントをつくろうと思ったら、もっと小さいスケールからやり始めようと。多分できるんじゃないかと思っています。

まずは川越市に住んでいる外国人のデータを私は見たことがない。アクセスできるかわからないですけども、恐らく中国人が人数の面で一番大勢いらっしゃるよ。ですから、その中国人のコミュニティーから、彼らなりの芸術祭みたいなのが、まずできると思います。最も一番大きい外国人のコミュニティーですから、そのような動きだったら、より小さいスケールでは芸術祭が実現できると思います。唐人まつりというのをご存じでしょう。その唐人まつりはどこでしたっけ、お寺の境内で行うんですよ……。

市長 蓮馨寺ですかね。

意見 蓮馨寺ですね、年に1回、すてきな祭りですけども、それが歴史的な伝説とか、そういう面が反映されて、今ここで生きている現在の芸術が、何ですか、そこには表れてこないんですよ。ごめんなさい、ちょっと思い浮かんだばかりの着想なんですけれども、よろしく願います。

市長 今のご意見は、アジア芸術祭みたいなものをやるのであれば、まずは小ぢんまりとしたものから始めて、だんだん広げていったらどうかという、そういうやり方に関してのご提案であったかというふうに受けとめました。おっしゃるとおり、最初からアジアのいろんな国、なるべく多くの国の文化、芸術を紹介するようなお祭りというのは、一遍に始めるというのはなかなか難しいと思いますので、やれる方向でやるのであれば、まずは数カ国ぐらいの芸術祭みたいなものから始めると。それでだんだん広げていくというのがやり方としては順当なんだろうというふうに私も思います。貴重なご意見、ありがとうございます。

《Wi-Fi環境の整備》

意見 多分、市長さんのお耳にも入っているお話だと思いますが、外国人の目から見た川越市内では、Wi-FiでSNSでの情報発信ができる場所が限られているかと思っています。6年後の東京オリンピックを控え、これから川越に関心を持つ外国人のためにも、日本全国からでも世界の中の川越市を、川越から世界に発信できるようにア

ンテナをもっと増やして、設備が充実できたらなと思います。それでオリンピックが終わった後も、川越に関心を持つ外国人が世界のどこからでも川越市にアクセスできるようにお願いしたいと思います。

市長 川越市内でW i - F i の環境を整えたらどうかという、そういうご提案だったと思うんですが、これについてはオリンピックもございまして、今、検討を進めておるところでありますので具体化すると思います。

《日タイの文化交流》

意見 私はタイから参りました。元アジア大会の空手オリンピックの金メダルを取って、それで、外国籍市民になったんですけれども、その前に外国籍市民になったきっかけは、埼玉県から依頼されたんですけれども、どうして外国籍市民になるのは、川越市のために何か、外国の人のために何か役に立つと思いますので、それで参加しました。当時はそのときに（日タイ修好）120周年があったんですよ。国際交流課から以前、日タイ、何かやってくれないですかと言われたときに、じゃ、予算がないし、私たちも何もわからないものですから、市役所のほうからちょっと6年前に予算は4万だけいただいたんですよ、当時は。そのときにお客さんが、いろいろみんな市民の日本人もいますし、タイ国の人も何人か参加して、当時は800人ぐらい参加しました。その結果は、今の外務省の120周年のこれは埼玉県では川越市だけ日タイ文化交流でやりました。でも市役所のほうは、ただ予算は4万だけです。

これからあと2年、3年経ったら、また130周年がありますので、オリンピックへ行く前に。やっぱりアジアでは我々がやったことはご存じですか。今、クラッセの国際交流センターで朝から夕方までは無料で、子どものために日本語を教えています。または相談、弁護士、いろんなことを無料で相談して、または日本の文化を勉強しながら、いろいろそれで無料です。全て私たちがボランティア活動して展示会をやりません。市役所はいつも予算がない、予算がないと言う。結局、私たちのほうが一生懸命やったことが、アジアには興味ないでしょうか。それを疑問に思っている。我々いつも勉強しながら伝統的なタイダンスもやっています。さっきも言ってた蓮馨寺のお祭りでもやるんですが、我々の団体、埼玉県在住タイ人クラブの団体は大体150名で参加しました。予算がない、自分たちでいつもお金を出して御飯食べたり、ダンスをやりました。

大使館の関係の公使も毎年参加したんですけれども、朝から夕方までいらっしゃった。でも川越市のほうに無視された。大使館の関係が見えましたが、あまりにもちょ

っと無視され過ぎて、国際交流課は職員が一生懸命にやったんですけれども、市長さんは一度も会ったことないと大使館のほうにちょっと言われたんです。何でアジアのほうは興味ないでしょうか。

これは見たことはございますか。この本は外務省の本です。川越市、載っていました。いろいろな相談とか、子どものためにも勉強しました。クラッセでやっています。第2と第4、予算がないながら一生懸命やっているんです。人のために豊かになると思うんですけれどもだんだん限界が来ます。これからオリンピック前に、ちょっと日タイ文化の交流を考えていただけないでしょうか。また、私たちのメンバーたちの、もちろん日本人もいますし、タイ人もいますし、ちょっと何かまとめてほしいと思います。

意見 私は川越市民なんですけれども、今御意見をおっしゃった会長さんの埼玉在住タイ人クラブでボランティアをしております。普段は会社員なんですけれども、土日とか時間をつくってやっています。

まず2つぐらいお話しさせていただきたいんですけれども、実際今、私たちのクラブは大使館のほうからかなり活動を認められていて、在日タイ大使館、私たちの披露しているダンスとかの文化交流の活動が認められて、例えば仙台で行われるタイフェスティバルだとか、先日も東京の品川の大井町で行われた祭りに大使館のほうから指名があって、そちらのほうに招かれてのダンスを披露したりしてきました。

あと、タイのお祭りの4月のソングラーンですとか、11月の国際交流フェスの唐人揃いのときなども大使館のほうから公使の方がいられて、ふだん、公使の方というのは、ほとんど朝来たら顔だけ出して帰ってしまうんですけれども、非常に私たちの活動は楽しかったと思うんですけれども、一日いらっしやいまして、非常に喜んでいただきました。タイのことばかり話して、皆さん、申しわけないんですけれども、非常に大使館のほうから注目されている私たちクラブでありますので、そんな中でぜひ川越市のほうからも、何か行事がございましたら、何か市長さんのメッセージを賜るとかしていただけると、すごくこの先もいいと思います。

日タイ修好で、あと6年先に日タイ修好130周年という行事がありまして、国のほうでもいろいろあると思うんですけれども、前回120周年のときに川越市、日本でも東京以外で川越市だけです。外務省のそういう本にまとめられているわけなんですけれども、ぜひ、タイのほうで私たちのクラブ、今度はちょっと目をかけていただきたいというのがあります。

市長 1つは、国際交流フェスタ、唐人揃いに市長が一度も来たことがないという、

私も確かに一度も行ったことはございません。もし私の記憶が間違えていたら申しわけないんですが、1つは、時期が秋のいつごろでしたか。

意見 11月です。

市長 11月は常に何か大きな市の事業か、あるいは出張と重なってしまう日取りであるというのが1つ、そんな記憶がございます。

それと、具体的にご案内を頂戴していないのではないだろうかというふうに思うのですが、どうでしょうか。いただいていますか。

案内がなければ行かないのか、というふうに言われてしまえばそれまでですけども、なかなかですね、こういうことをやりますので、おいでくださいという、要するにインビテーションを市長宛てにいただいているかどうか、ちょっと私の記憶ではないんですよ。案内をいただいていると、秘書室を通して、この日、こういうご案内が来ていますが、どういたしましょうという、そういう問いかけが私に対して必ずあるんですが、その問いかけがあったような記憶がないんです。もし、私の記憶に残ってないんだったら、それは申しわけないですけども、ちょっとその辺は確認したいと思います。それでできる限り、いろんな外国籍市民の方の活動についても、一定程度の参加といいますか、そういうようなことは私もしたいとは思っております。その点については改善していきたいと思います。

それと予算、補助金の関係なんです、国際交流全般に関しての予算づけというのはできると思うんですが、例えば日タイ友好、それから日中友好、日韓友好とか、そういう個別のものについて予算づけができるかどうかというのは、やや難しい面がありそうな気がするんです。ですから、国際交流委員会か何かに、ある程度の予算を多めに出して、そこから個別のところ一定程度のお金を出している、そういうつくりにししないと、市がストレートに出しているのがなかなか難しそうな気がしているんですが、その辺についてもできるだけ努力したいと思います。

市民部長 タイダンスをいろいろなイベントにぜひ披露させてくださいということでは言われたと思うんですけども、一応今、うちのほうの所管で自治会連合会というのがございまして、来年度で60周年記念事業をやるんですよ。そのときのイベントの1つとして私のほうで提案させていただきます。私が決めるのではないですから、自治会連合会のほうに、どうでしょうかという形で提案させていただきますので、それが通るか通らないかわかりませんが、ちゃんと意見として受けとめましたので。

意見 ありがとうございます。

意見 私の会だけではなくて、本当はいろんな会もあるんですけども、予算もない中で、みんな一生懸命やっているの、できれば何か認めて、例えば場所のところとか、ダンスのできるのところとか、とても助かるんです。きょうは、メンバーは6人来たんですが、みんなの意見はありますと思いますけれども、どうぞよろしくお願ひします。

市民部長 また、そういう個別の要望は、国際交流に要望していただければ、できる限りのことで対応したいというふうに思いますので、よろしくお願ひいたします。

《日本語教室の充実》

意見 日本人とタイ人の間にできた、今いらっしゃるお子さんですね、日本語が非常に不便で学校で困っていたりするので、クラスセ、お借りして、日曜日、そういった子どもたちに来てもらって日本語を教えたりとか、そういうような活動をしています。ただ、どうしても私たちは日本語教育の専門家ではございませんので、なかなかうまくはいっているとは思えないんですけども、何かそういったご支援というか、そういったものをしていただけると非常にうれしいです。どうしてもなかなか高等教育を受けた親の方ばかりではないので、家庭での教育が難しいとか、そういうような状況もございます。すみません、長々と申し訳ないですけども。

市長 外国人のお子さんの日本語教育について、学校以外の場所での教育を充実してほしいという、そういうご要望として承りました。それについては検討をさせていただきたいというふうに思います。

《観光案内ボランティア》

意見 今、成田空港から川越までのバスがあるじゃないですか。それで今、タイでは観光、昔はビザが取れないですけども、今は観光はビザ、かなりは。川越市内に観光地、いっぱいありますので、できれば案内とか、私たちのボランティア活動をしている通訳とか案内者は、タイ語をやってもらいたいと思いますので、ぜひ。毎年毎年、大使館の関係のお客さんたちが来るんですけども、私たちいつも案内しながら、何も役所は関係ないんですけども、何かできることなら助かるんです。

市長 これから2020年のオリンピックのゴルフ競技の開催に向けて、そういうことも考えていかなければならないというふうに思っておりますので、その中で進めていきたいと思ひます。

《中国残留孤児への支援》

意見 中国から来ました。私から言うのは、中国残留孤児の件です。みんなご存じと思いますが、中国残留孤児の方々は、今、大体 60 歳から 70 歳になりました。あの方たちは日本語もわからない、日本で生活しています。この前に私の知り合いの方は入院したけれど、彼は日本語がわからない。心臓の手術なので、特にここはどの形で、自分の病状はどうなっているかすごくわからなくて不安なので、川越市からその方々に支援はありませんか。

市長 ちょっと中国残留孤児の方に対して、どんな支援をしていくのか、できるのか、ちょっと私の頭の中に入っていないので、にわかにはお答えできないんですが、後ほど直接担当のほうから回答させていただきます。

※中国残留邦人の方への自立支援や通訳ボランティアについて、御発言いただいた方には連絡し、詳細を説明しました。

《クラッセ川越》

意見 皆様、改めてこんばんは。私はインドから来て日本に住んでいます。私は川越に住んでいます。

私は東洋大学で博士を取って、今、研究のスタッフをしていますけれども、私は日本に来る前に、日本語は全然わからないときも、日本に来て、クラッセ川越で日本語の勉強を始めました。1年間ずっと勉強を続けて、この勉強で私は日本語の試験に合格しました。今も週に1回、クラッセ川越へ行って日本語の勉強をしています。皆さんもあそこへ行って勉強することができると思いますけれども、あそこにいるんな本があって、この本で教えて、これで本当にありがたいです。

この川越のまちはとても静かできれいなまちです。私が日本に来てから、ずっと川越に住んでいますけれども、あともずっと川越で住んでいたいと思っています。このクラッセ川越と、この下に、1階、2階、3階にある図書館もとても便利です。駅から近いし、本もいっぱいあるからとても便利だと思います。

《ごみの集積所》

意見 川越市にはごみ場所がありますけれども、少し場所には閉めるドアがなく、ネットで地面に置いてありますけれども、この場合は、通りとかあれば猫が入って、そのごみが外に出ていることもありますので、この場合は幾ら掃除をしていても、こ

れを閉めておいてあれば、雨が降っても、このごみが流れて、道の前にありますので、これだけを直せば、とてもいいまちになるかと思っておりますので、この対応もよろしくお願いたします。この機会を私にいただいてありがとうございます。私は日本語はあまり、すみません。

市長 ご趣旨はごみ集積所のあり方がネットをかぶせただけだと、外にごみが出てしまったりという、そういう余りきれいでない状況になるので、その辺を改善してほしいという、そういうご意見ですね。

ごみ集積所というのは、近所の方がごみを持ち寄って置いて、そこにパッカー車、ごみ収集車が行って積むための、そういう場所なんですけれども、川越市内にはものすごい数のごみ集積所があるんですよ、正直言って。それについて、全て例えば完全にふたができるような、そういう形にするとか、そういうものはなかなか時間がかかることでもありますけれども、少しずつ改善していきたいというふうに思います。

《観光客向け看板の統一》

意見 改めてこんばんは。中国から参りました。

川越に住んで7年目になります。観光客もしくは川越に住んでいる外国人がわかりやすい、例えばメイン通りとかでの統一された看板があれば、外国人はもちろん、観光客の方もよりわかりやすいんじゃないかなと思いました。これは何カ月か前に、国際大学で外国人観光客を川越に呼び込みましょうみたいな集会というか、モニターとしてそこに参加させていただいて、そのときに思ったことなんですけれども、統一した看板があれば、それぞれの店がちょこっと提供する、うちの店、これやっていますよという看板はあるかもしれないですけれども、統一された川越の、例えば表示がついた看板で、この店の特徴を書いておくということは、とてもわかりやすいんじゃないかなと思いました。

というのは、私、川越に住んでいて、日本に来ては16年目になるんですけれども、川越に住んで7年目になりますが、本当に国際大学で始めて知ったのは、川越でも結構浴衣とか着物を着て、まちを歩けるというような、そういうサービスというか、そういうのもあるらしくてそれを初めて知ったんです。とても、これからももちろん私は住んでいるのでできるかと思うんですが、たまに来た観光客が、それをぱっと見てわかるようなサービスだったり、あれがあれば、もっといいんじゃないかなと思いました。それが1つです。

市長 ご提案いただきましてありがとうございます。

統一した看板があるといいですねという、そういうご提案については、何といたしまししょうか、日本人というのは、細かいところで制約を受けるのが嫌だというか、実は川越市の中に伝建地区とって、古い町並みを残しましょうという、そういう地区があるんですが、ああいうものの選定をするについても、やはり個別の皆さんにいろいろ制約がかかるから、皆さんの大方の同意が得られないとできなかつたんですよ。そういう同意をいただくのもなかなか難しい面がございました。大分古いまちですけども、例えば家の色を、こういう色を使っちゃいけないとか、ガレージの色をこういう色を使っちゃいけないとか、そういうような面についても、なかなか制限をするのが難しいという面がございまして、看板を統一するというのは、見た目もきれいになるし、とてもいいことだというふうに思うんですが、それを実現するのはやや時間がかかるのかなと、正直言ってそういうことを感じながら、ちょっと伺わせていただきました。町内会の人たちに、少なくとも看板について、あまり景観上見た目がよくないとか、それからわかりにくいとか、そういう看板については改善していきましようという、そういう働きかけはもちろんやらせていただきますけれども、なかなかぱっと行政がああせいこうせいと言って言うことを聞いてくれるかいうと、そういうわけにはいかない部分でございしますので、ちょっと時間をいただきたいというふうに思います。

《幼稚園で外国語に触れる機会の設定》

意見 私は子どもが2人いまして、下の子はまだ8カ月で小さいんですけども、上の子が今、幼稚園の年中さんになります。私自身、国際交流課に翻訳通訳のボランティアを協力しておりまして、一度依頼されまして、中学校かな、年に1回ぐらいある授業というのを参加させていただいたんですけども、そのときに私から見た学生たちが、とても生き生きした目を見ると、これはとても意義があることだなと思ったのが、例えば市からそういう支援ができるのであれば、幼稚園でも子どもたちにグローバルに触れる、例えばいろんな言葉がありますよね、中国語だったり韓国語、インド、タイという、いろんな国の言葉に触れるような機会を年に一度でもいいから与えられる機会を、もし市から支援できるのであれば、これからの子どもたちは本当にグローバルに出ていくような子どもたちですよ。なので、その機会をもし市から提供できれば、私たちボランティアの人も、喜んで私自身は参加していますので、ぜひそういう支援といたしますか、できるのであればいいかなと思いました。

市長 通訳ボランティアとして、小学校に行ったときのご経験から、幼稚園にもそう

いうことをやったらどうでしょうかという、大変いいご提案だと思います。それについても幼稚園協会のほうを通じて、何らかの形で実現するように努力はしていきたいと思えます。

ただ、川越市にある幼稚園は、全部私立、要するに法人が経営している幼稚園なんですよね。保育園は川越市は 20 園ほど設けているんですが、市が設けている幼稚園というのはないんです。小学校は市が開設している場所ですから、市のほうでぱっとやろうと思えばできちゃうんですけれども、個人といいますか、法人が経営しているものばかりでございますので、それをこちらから提案をさせていただいて、どうですかという、向こうが受け入れてくれたらの話ですので、そういうハードルはございませぬけれども、なかなかよいご提案であるというふうに思えますので、前向きにちょっと実現するように考えてみたいと思えます。

《オリンピック外国人ボランティア》

意見 1つの質問があるのです。2020年のオリンピックの開催都市が東京で決まりました。オリンピックのゴルフの競技場は、川越市の霞ヶ関のカントリー倶楽部で開催される予定なんですか。

市長 そうです。

意見 そのときは外国人のボランティアの募集があればいいと思えます。そのときは・・・。

市民部長 募集に参加したいということでしょうか。

意見 そうです。ちょっと緊張しているので申しわけないです。

市長 おっしゃるとおり 2020年の東京オリンピックの際には、ゴルフ競技は川越市にある霞ヶ関カントリー倶楽部というゴルフ場で行われる予定です。今の予測といたしますか、お話では、1日2万5,000人ぐらいのギャラリーが来るだろうと、国内外からというふうに予想されていて、外国からも大勢の方がゴルフ競技を見に来られると思えます。そのときには、やはりいろんな国の言葉がしゃべれる人が必要になりますので、それはぜひ、それぞれの国ごとに、ボランティアの方に活躍していただかなければならない、そういうことが予想されますので、まだ具体的な準備とか手続には入っていないんですが、その際には、ぜひ皆様方にボランティアとしてご協力をいただきたいというふうに思っておりますので、募集が始まりましたら、外国籍市民の方々にも、その情報をお伝えして、ぜひお願いしますということになると思えますので、よろしくお願いします。

意見 すみません、私は中国から参りました。さっき市長様がおっしゃったボランティアの募集の件、もし、川越市市民以外の人でも参加できますか。

市長 もちろん、市の中でも募集をするでしょうし、それはやっぱり全国的に募集をかけるというふうに思います。とても川越市内にいる人だけでは対応できない規模だというふうに思っております。

意見 ありがとうございます。

《税金の手続き》

意見 私は、去年6月、この川越から池袋に引っ越しして、その後、今年の4月ぐらい、川越市役所から住民税の料金の支払票が届いてきました。

でも今はまだ大学生なので、これは免除するという形で、でも免除する手続きが、ちょっと池袋から市役所まで来て、その手続きをやらなければならないんです。だからこの手続きが、もし電話とか、あと郵便とか活用して取り消しできれば、もっと時間を節約できるし、そのほうがいいかなと思いました。

市民部長 勤労学生ですと非課税になると思います。ただ市民税課がございますので、市民税課に1回電話していただいて、市民税課から多分申告書が行きますので、申告書に記入していただいて、あと学生証の写しをつけていただければ、それで非課税になると思います。1回、市役所の市民税に電話していただければ。

市長 必ずしもこちらに出向かなくても大丈夫ですよ。

市民部長 電話で大丈夫です、もうわかっていることですから。

意見 ありがとうございます。

《国際交流の場の設定》

意見 タイから参りました。今回のタウンミーティングに初めて参加させていただいてありがとうございます。私は今、埼玉県在住タイ人クラブのボランティアをやっていて、ふだんは会社員なんですけれども、最初はちょっとクラブのボランティアとして話させていただきたいと思います。

私から見れば、国際交流の機会を川越市から、もっと機会をふやしてほしいかなと思います。今1年間にうちのクラブに参加しているのは、個人の参加数8名で、第1回の小江戸アジアフェアがありまして、うちも参加させていただきました。あと11月の蓮馨寺にも参加して、それから、今年からもあちこちのお祭りにも行って、10月に入間万燈まつりがあるんですね。その入間の祭りのところに、世界の友だち広場、

ワールドキッチンという場所が設置してありまして、そこに各国の出店とパフォーマンスができる場所がありまして、それは川越まつりにもちよっとあったらいいんじゃないかなと思っています。川越からは、その機会をつくってくれないと、うちからもあまりその機会がないので、それが川越に住んでいる日本人たちが、こういう機会を、市長にもちよっと検討していただきたいと思います。

市長 国際交流の機会を川越市として増やしてほしいという、そういうご要望であったかと思います。その中で、入間市か何かであるイベントに、川越まつりを紹介したらどうかという、そういう……。

意見 違います。入間に入間万燈まつりがありますですね、10月に。それは多分入間市から国際交流という場所をつくってくれます。その中にタイ、韓国、中国、あちこちの国から出店ができる場所があります。それを川越まつりにはつくってくれないですかということ、いつも思うんですね。

市長 川越まつりのときに、国際交流の場をつくってほしいという……。

意見 そうですね。

市長 今年のお祭りに、すぐにそういうというわけにもいかないと思うんですが、検討させていただきます。ただ、川越まつりは、1つは町方、町内の人たちが中心になってやるのがメインでありまして、それ以外の附随的なお祭りについても、各団体とかボランティアの人が中心になってやっているというのが現状だと思いますので、むしろそういうような場を、行政として考えればいいという、そういうことになりますかね。場所をここにして、皆さん、それぞれのお国の何かデモンストレーションみたいなことをやってくださいねというか、そういうふうな場を設ければいいという、そういうことになりますかね。

意見 そうですね、入間万燈まつりは、そういう場所をつくっております。多分、今年の10月にもありまして、川越まつりも開催されると思いますので、そのときはステージもあります、テントもあります。テントには各国のお料理、食べ物、それといろいろな国の出店できる場所は無料で参加させるみたいな感じですね。

市長 すみませんが、後ほどちよっとご提案というか、ご発言の要旨を具体的に教えていただけますか、その点については。

《保育園・小学校》

意見 個人的なことなんですけれども、私、今、南大塚に住んでいます。子どもが1歳で、ちよっと南大塚のほうは、川越の端っこですね。それで、保育園、学校が少な

い。今、おばさんの子どもが川越、大東西まで歩いております。大体 15 分か 20 分かかりますけれども、日本人の考えは近いかもしれないですけれども、私たちタイ人の考えはちょっと遠いかなと思います。保育園も南大塚は保育園ができましたけれども、今いっぱい、南大塚は保育園が少ない。それと 16 号を越えないと行けないということです。もうちょっと探してほしいですね、ありがとうございます。

市長 保育園とか学校が遠いという、少ないという点については、保育園については待機児童、要するに子どもさんを保育園に入れたいんだけど、なかなか、しばらく待たなければならないという、そういう現状があるということは十分認識しております、いろんな形で民間の方に保育園もつくっていただくということで、今年度中に 3 つですか、新しい保育園を設けてもらって、定員を 330 人、来年の春にはさらに増やそうと、そういう予定でおります。それから先も、もっと保育園を増やさなければならないということは認識しておりますので、順次やっていきたいというふうに思っています。

それから、学校が遠いという点については、なかなか学校を新しくポンとつくるというのは正直言って難しい話でございまして、その辺については少しご理解をいただくよりしようがないのかなと、そういうふうに思います。周辺地域へ参りますと、小学生が 4 キロぐらい歩いて通っているという、そういう場所もございまして、そういう場所についてバスを導入するか、何か方策を考えなければいけないよという、そういう認識はあるんですが、なかなかそちらのほうも解消できていないという部分がございまして、そういうことと兼ね合わせて考えますと、その辺については、ちょっとご理解をいただきたいというふうに思います。

《障害者のための就労支援》

意見 外国籍の市民の私たちの知り合い 4、5 人の生活にかなり重要な影響を与える問題について伺いたいんですけども、聞いた話によると、川越市がこれから何年間か先、一切、障害者のための作業所をつくらないことにしましたということを知っています。これは毎年毎年、障害者、養護学校から卒業してくる子どもたちの人数を見た上では、成り立たない状態にはなりがちです。ということは、何十人か卒業してきて、行くところがあるとしたら作業所に入って、ずっとお年寄りになるまではそこにいるから、その後、卒業してくる子どもたちのために空きがどんどん少なくなって、もう知り合いから聞いた話では、今年度、つまり今度の 3 月で、例えばひばりが丘とか、いろんな養護学校から卒業生が行くところが非常に厳しい状態だということは、

その次の年はなお厳しくなってしまいますよね。

行くところがなければ、その子どもたちがどうするかというと、在宅ケアしかないので、その在宅ケアになってしまうと、両親たちの生活が収入力にはかなりひどい影響を与えられてしまいます。ごめんなさい、ここに集まっている方に余り妥当性のない話ですけれども、外国籍の市民の中では、こういう重度障害者の両親は多分10人ぐらい川越市にいますので、これはかなり気になる話なんですけれども、まずは質問としては、私が聞いたうわさぐらいの話は正しいでしょうか、政策について。

市長 障害者のための就労支援というのは、今、川越市が持っているもの幾つかあるんですが、お話のように、そこにずっと皆さん、いらっしゃるということになるから、新しい人がなかなか受け入れ場所が少なくなっているという、そういう現状があるということは間違いないです。それについて1つ考えているのは、民間の障害者施設の中に、そういうような場所をつくってもらって、もちろんつくるに当たって、あるいは運営していくに当たって、市のほうから補助金は出すんですが、そういうような形で特に成人になられた障害者の方のために、そういう場を確保していこうという、今そういう方向で考えておりますので、全く今後つくらないという、それは必ずしも正しくないです。

民間の施設の中に、そういう場所をつくってもらおうという、今そういうようなことを考えております。

意見 市と民間が手をつないでいくというようなお話ですよ。

市長 そうですね。

意見 わかりました。

《外国籍市民会議への呼びかけ》

意見 すみません、最後になりましたので、私、今ちょっとこの場で、こんなにたくさん外国人が会うのは、ちょっとすごいうれしいし、この機会が余りないので。ここでちょっと呼びかけたいのは、私が今ちょうど外国籍市民会議の代表をやらせていただいたんですけれども、これからは、うちの会議をもし皆様が興味と時間がありましたら、ぜひ参加していただいて、それからもし時間がなくても、ご要望等、意見がありましたら、ぜひ私たちのところに寄せていただいて、これからはもっと川越市をよくするために、一緒に頑張りたいと思いますので、よろしく願いいたします。

市長 一つのご提案として伺っておきます。要するに、ここにいらっしゃる皆さんに、そういうことを呼びかけたいということですね。

意見 そうですね、実はあまり会えなくて、こういう機会がありましたから。

文化スポーツ部副部長 ここにいる皆さんのメールアドレスでメーリングリストをつくりまして、いろいろ情報提供をしたり、いろいろ呼びかけたりしたいと。

市民部長 タウンミーティングは、毎年開いていますけれども、いろいろな団体を呼んでおりますので、今回は外国籍市民会議の方をお呼びいたしました。ですから、タウンミーティングは毎年やっているわけにはいきませんが、文化スポーツ部の所管がございまして、このような会議をやって、外国人の意見をいろんな形で聞き取るということは必要な機会だというふうに捉えていますので、今も担当のほうで、言いましたけれども、いろいろ呼びかけをして、このような集まりをできるだけ多くつくりたいということですので、すみません、ご理解をいただきたいと思えます。

意見 すみません、私のほうから1つ提案させていただきたいというか、要望ですが、外国籍市民会議は、提言をするのはお仕事です。その提言が実現するかどうかはまた別の話です。それは川越市役所の方々に実施していただきたいテーマもあれば、自分の手によって実現しなければいけないことも数多くあります。5,000人足らずの外国人のためにできることは限られていると思えますけれども、先ほどドウエル先生の文章の中にもありましたように、川越の国際化というテーマですと、外国籍市民だけではなくて、日本人の住民の中で外国に興味のある方は数多くいらっしゃると思えますけれども、そこで例えば有志の人で外国籍市民と日本人の川越人による川越国際クラブみたいなものをつくれないうのかなと思っておりますけれども、そういう組織の中では、例えばタイの方は、タイ人クラブの活動とか、韓国のいろんなアクティビティの提案、中国との交流などなどいろんなテーマをそういう国際クラブという組織を通じて市に提案して、そういうことに対して個別の国、この国は何万円、この国は何千円ということではなくて、国際交流全体に対して市の例えば場所の提供とか援助という枠はつくれますでしょうかという質問です。

市長 そういう形であれば可能だと思います。

意見 ありがとうございます。早速提案つくらせていただきたいと思えます。

市長 本日は大変いろいろな有意義なご提案、またご意見を頂戴しましてありがとうございます。なかなか私のほうが聞き取れないというか、理解できなかった部分もあったかと思えますが、言い足りなかったとか、そういうようなことがございましたら、

別の機会で構いませんので、例えば市民意見箱とか、そういうようなものを通じまして、ご要望とか、そういうものを出していただけたらというふうに思います。

これからも皆様方の川越市に対するご理解を、どうぞよろしくお願い申し上げます。市といたしましても、皆様方のためにいろいろご要望等については、できるだけお応えしていきたいというふうに考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

今日は、本当にありがとうございました。